

平成 29 年度 第 2 回 市長と語る車座ミーティング（意見交換概要）

【開催日時】平成 29 年 10 月 26 日（木）午前 9 時～午前 10 時

【開催場所】市役所本庁舎 2 階第 2 委員会室

【申込団体】東御市男女共同参画推進委員会

【参加者数】7 名（市長、市職員を除く。）

【懇談テーマ】市長が考える男女共同参画について



※議事については、主な内容を抜粋して掲載しております。

個人のプライバシーに関する部分などについては、一部内容を割愛しております。また、意見交換の内容は開催日時点のものであり、現在の状況と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

【概要】

（委員）

我々委員は市内企業を訪問し、その内容を広報で発信し、考え方のきっかけや周知をして、知ってもらおうと活動している。上田市や佐久市では事業所対象に男女共同参画表彰を行っているが、東御市での考え方は。

（市長）

表彰は当市においては、表彰規則に則って行っており、10 月 3 日のとうみの日に、年 2、3 人個人を表彰しています。地域からも表彰して欲しいという依頼が市長室にあり、表彰審査委員会で審査しています。男女共同参画表彰については、検討させていただきます。

(委員)

企業訪問をした際に、従業員の子どもと学校の事が最優先という社長がいました。しかし、市役所は育児休業明けの方が仕事を続けられないという話を聞いたが、復帰できるから良しとするのではなく、復帰した後も仕事と子育ての両立ができるようにして欲しい。本人の努力もそうだが、周りの理解がとても重要だと思う。女性が活躍できるリーディングカンパニーとなっていただきたい。

(市長)

優秀な人材が結婚を機会に辞められては、市役所がもちません。出産後も働ける職場でないといけないと思っています

リーディングカンパニーの役割として、出産後復帰職員のメンテナンスを非常に大きな課題として改善に取り組んでいきたいと思います。また、イクボス・温かボス宣言をしましたが、男性には1日でも2日でも育児で休んでもらって、楽しさや喜びを得て欲しいと言っています。

(委員)

市長には引き続き、イクボス・温かボスとしていてほしい。

(委員)

企業訪問して思ったが、辞めたい人は辞めたい。続けたい人は続けたい。男性でも育児休暇が欲しい人もいる。そういった事に柔軟性をもって対応するのが、男女共同参画だと思う。ただ、柔軟性に対応するにはマネジメントがかなり大変だが、柔軟性をもって対応できた企業や市がこれから生き残っていくのだと思う。柔軟な組織を作っていく事が非常に重要である。

(市長)

男女共同参画に関して、私は良い方向に動いていると感じています。労働力の確保を地域産業のためにという追い風の中で、女性の働きやすい職場というのが課題となってきました。この良い方向性が、逆行しないように少し上を臨まないと良くならないと思います。

共同参画というのは、結果で関係するのではなく、企画段階でどう女性の意見を反映するかだと思います。